

夢を育て 大地を耕す



愛媛県立農業大学校

〒791-0112 愛媛県松山市下伊台町1553番地
TEL (089) 977-3261(代) FAX (089) 977-5410
<http://home.e-catv.ne.jp/ehime-noudai/>
E-mail ehnoudai@aqr.e-catv.ne.jp

1 教育目標

- 農業に携わる者としての自覚をもち、農業に取り組む自信と誇りを醸成する。
- 農業経営・農家生活に必要な専門的な知識、高度な技術及び幅広い教養を備えた人材を養成する。
- 地域農業のリーダーに必要な判断力、企画力、マネジメント力を養成する。
- 社会情勢の変化に対応できる視野と創造力・適応力を養成する。



2 教育の内容・特徴

(1) 総合農学科（農産園芸コース、果樹コース、畜産コース）

実践教育による専門的な知識と技術の習得、実習重視のカリキュラム、実習圃場を利用したプロジェクト学習や、北海道農業体験実習などの幅広い視野を養う校外学習を行っています。

共通科目に加え、農産園芸、果樹、畜産の各コースに分かれて、それぞれ専門的な栽培技術と経営を学びます。
(修業年限2年、定員55人、受験資格は高等学校又は中等教育学校卒業(見込み)者等、卒業者に専門士の資格付与)



農産園芸コースは、野菜と花きの露地・施設栽培について学習します。特に2年次には農林水産研究所等において野菜・作物・花き等に対する専門的な理論や最新技術について学習します。

果樹コースは、柑橘の露地・施設栽培やブドウ、モモ、ナシ、カキなどの落葉果樹の栽培について学習します。特に2年次には果樹研究センター等において果樹に関する専門的な理論や最新技術について学習します。

畜産コースは、1・2年次を通じ、畜産研究センター等において畜産（酪農、肉牛、養豚、養鶏）に関する最新の技術や理論について学習します。

総合農学科の学習内容

教養科目	暮らしと経済、暮らしと法律、英語、情報処理
専門科目	農業経営、農業簿記、農業と環境、農業概論、病害虫と防除計画Ⅰ、土壌肥料概論、農業気象、農業機械利用、農村社会、農業組織論、農業経営分析・設計、農産物貿易と海外農業、生物工学、農業政策と行政
専攻科目	農産園芸コース(植物育種、植物生理、土壌・植物調査法、野菜・花き・作物栽培概論、農畜産物加工、先進事例研修、土壌と肥料設計、病害虫と防除計画Ⅱ、施設園芸学概論、野菜栽培各論、花き栽培各論、作物栽培各論、農産物流通、卒業論文) 果樹コース(植物育種、植物生理、土壌・植物調査法、果樹栽培概論、農畜産物加工、先進事例研修、土壌と肥料設計、病害虫と防除計画Ⅱ、施設園芸学概論、果樹栽培各論、かんきつ論、果樹流通、卒業論文) 畜産コース(家畜解剖、飼料栄養、家畜育種と繁殖、家畜生理、家畜飼養管理、農畜産物加工、先進事例研修、畜産経営、家畜衛生、環境保全と糞尿処理、畜産流通、卒業論文)
実習	専攻実習

(2) アグリビジネス科 (リーダー養成コース)

就農並びに農業法人等へ就業し、経営参画や地域農業を牽引できる先端的な知識・技術と幅広い見識、リーダーたる資質を兼ね備えた人材の養成を目指します。そのため、試験研究機関等での実習を重視したカリキュラムを組み、生産をベースに経営や流通・加工・販売を体系的に学びます。

(修業年限2年、定員10人、受験資格は農業大学校又は短期大学の卒業(見込み)者等、卒業者に専門士の資格付与)



アグリビジネス科の学習内容

教養科目	実践英語、組織リーダー論
専門科目	農業の国際化と貿易戦略、農業経営管理、情報システム論、農村整備、農畜産物加工学、先進農家セミナー、環境保全型農業、基礎栄養学、食の安全と衛生、農政時事、マーケティング論、法人経営学、農業機械・施設学、地域営農論、地域づくり論、食品加工法規、食品の微生物基礎、農業経営法規
専攻科目	(生産システム学、土壌肥料学、応用昆虫学、植物病理学、植物栄養学、応用生物工学、貯蔵流通技術、卒業論文) 又は(家畜育種学、家畜繁殖学、飼料学、家畜栄養学、家畜解剖学、家畜飼養学、家畜衛生学、糞尿の高度処理技術、卒業論文)
実習	専攻実習、食品加工実習、アグリビジネス体験実習

(3) 研修課程

農業者、新規就農者、一般県民を対象として、農業の基礎を学ぶとともに実践的な就農準備のための研修に加え、就農啓発講座、農産加工講座、農業機械士養成研修など多様な研修を実施します。

講座名	目的	開催期間	対象者
就農啓発講座	就農啓発を目的とした農業理解促進	2日間	高校生 40人
えひめ農業入門塾	社会人を対象とした就農準備研修	10日間(5月～翌年2月の休日)	就農を考えている者 野菜コース20人 果樹コース20人
農業担い手支援塾		40日間(5月～翌年2月の平日)	就農が具体化している者 野菜コース10人 果樹コース10人
特産品開発講座	地域農産物の加工品等の作り方及び販売方法の講習	1日間×2回	農業者 2地区 各20人
農と食の県民講座	農産物の栽培・調理・加工講座	1日間×2回	一般県民 2作物 各20人
農業機械士養成研修	農業機械の取り扱い講習	講義・実習3日間 免許10日間	農業関係者 8人



えひめ農業入門塾 開校式



えひめ農業入門塾 野菜コース



えひめ農業入門塾 果樹コース



就農啓発講座



農業担い手支援塾 果樹コース



農業担い手支援塾 野菜コース



農産加工講座



農業機械士養成研修

3 体験学習、学生による農産物即売、プロジェクト発表

(1) 先進的な農業・幅広い知識を培うための体験学習



北海道農業体験実習



北海道農業体験実習



県内先進農家体験実習

(2) 農大生が作った農産物を販売する春の即売会、秋の収穫祭



即売会



収穫祭

(3) プロジェクト学習とその成果発表



農業大学校でのプロジェクト発表会



全国農業大学校等プロジェクト発表会

学生はプロジェクト活動を行い、自ら考え自ら実践し、問題解決の方法や研究心の涵養を図っており、その成果を発表しています。

代表者は、中四国及び全国プロジェクト研究発表会に参加します。

4 協調性を養うクラブ活動



総合農学科の学生は、軟式野球・バレーボール・バドミントン・卓球のいずれかのクラブに所属し、四国ブロックスポーツ大会等に参加します。

5 学生自治による寮制教育

総合農学科1年次は原則として全寮制、2年次は希望入寮制で、1部屋2～3人の共同生活により協調性を養っています。



6 資格取得

次のような、資格・免許・講習の受験・受講機会があります。

危険物乙4類取扱者資格	毒物劇物取扱者資格
大型特殊自動車運転免許	アーク溶接業務特別教育
クレーン運転業務特別教育	小型車両系建設機械特別教育
ガス溶接技能講習	小型移動式クレーン技能講習
玉掛け技能講習	フラワーデザイン講習 等



小型車両系建設機械特別教育

7 学費、奨学金等(総合農学科、アグリビジネス科)

入学選考料2,200円、授業料年118,800円(減免制度あり)、入学金は不要です。

諸経費(教材費、研修費、食費、光熱費、傷害保険料等)として、

総合農学科1年生・寮生:約60万円(年間)

総合農学科2年生・寮生:約45万円(〃)

・寮外生:約18万円(〃)

アグリビジネス科・寮外生:約18万円(〃)

個別に精算して残額は返金します。

資格取得経費は別途徴収します。

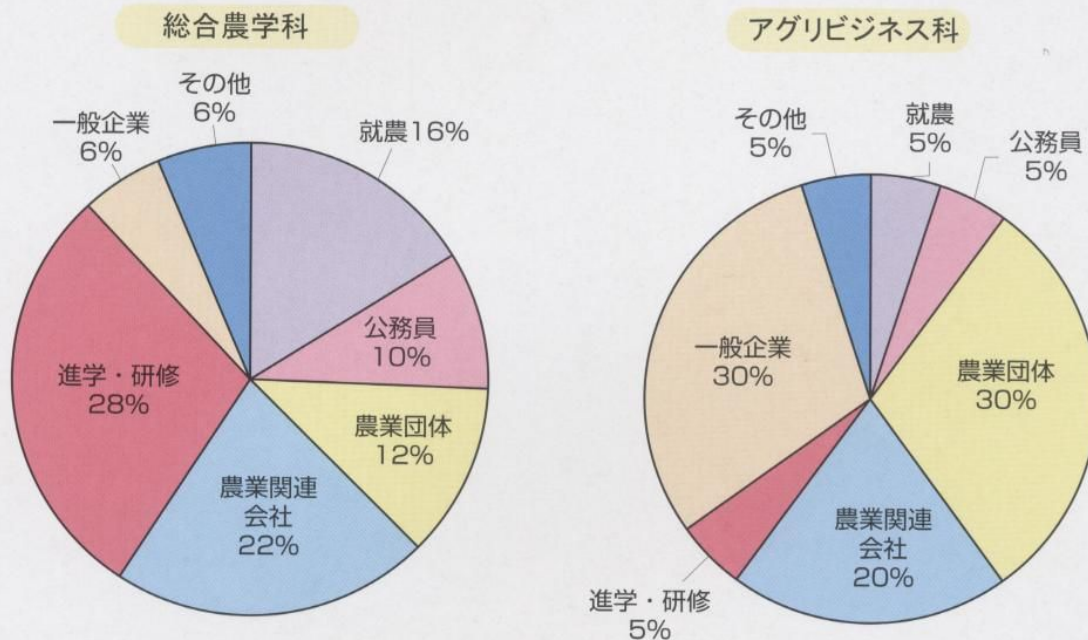
独立行政法人日本学生支援機構等、奨学金貸与の対象です。

就農計画の認定者は就農研修資金借り入れ対象(総合農学科)です。

8 編入学

総合農学科卒業者は、愛媛大学農学部等の3年次編入学試験の出願資格があります。

9 卒業生の進路



(平成19年から21年度の卒業生合計)

10 施設・設備

教 棟	RC造4階建	1,856㎡
寄 宿 舎	RC造3階建	2,138㎡
体 育 館	SRG造2階建	1,165㎡
車 庫	鉄骨造平屋建	200㎡
水田47a・畑163a・果樹園204a		
鉄骨ハウス12棟、パイプハウス8棟		
食堂、現場実習教室、堆肥舎、運動場等		
農業機械研修場 10,965㎡		
畜産分校(畜産研究センター) 教室、寄宿舍		



実践教育を重んじる教育理念
「興農研学」
農を興す者すべからく作物に学べ

11 アクセス

愛媛県立農業大学校

〒791-0112 松山市下伊台町1553番地

TEL:089-977-3261 FAX:089-977-5410

松山市駅から伊予鉄バス7番のりば伊台・五明・城山線30分、伊台下車徒歩5分

JRの場合、予讃線松山駅下車、伊予鉄市内電車にて松山市駅経由（以下同上）

松山自動車道松山ICから北へ約13km

畜産分校（畜産研究センター）

〒797-1211 西予市野村町阿下7号156番地

TEL:0894-72-0064

JRの場合、予讃線卯之町駅下車、宇和島自動車バスにて畜産試験場下車

